



とうかい

第 29 号

公立学校
共済組合 東海中央病院

◆基本理念◆

「最高の誠意」「最善の医療」

◆基本方針◆

- (1) 患者さま尊重の医療
- (2) 診療機能の向上
- (3) 健全経営の維持

緩和ケアチームがスタートします。

緩和ケアチームの発足会が9月5日に行われ、「終末期がん患者の症状コントロール」と題して、渡邊病院長による講演が9月14日に行われました。



緩和ケア外来のご案内

11月22日(木)より開設します。

診療時間：毎週木曜日、午後1時より4時（予約制）

担当医：渡邊 正*、井上保（*日本緩和医療学会理事、日本外科学会特別会員などを担当）

相談事項：身体症状（痛み、息苦しさ、吐き気などの消化器症状、だるさなど）、精神症状（不眠、うつ、せん妄など）の治療や、介護などの療養上の問題など、気軽にご相談ください。

予約方法：

- 1. 当院通院中の方…主治医にご相談ください。主治医が緩和ケアチームへ依頼するという形になります。
- 2. 他の医療機関でケアを受けられている方…予約制で紹介状が必要となりますので、かかりつけの医療機関から紹介予約をしてください。

各医療機関の先生方へ

緩和ケア外来への予約は、通常の紹介予約と同様に「紹介連絡・予約申込票」を記入し当院地域医療連携室までFAXしてください。

この時、依頼診療科は「緩和ケア外来」をお願いします。

FAX受理後、予約日時調整を行い「緩和ケア問診票」を送らせていただきますので、記入し送り返してください。

看護師・助産師・保健師・准看護師を随時募集しております。

詳しくは以下の連絡先（看護部）までご連絡ください。

電話 (058) 382-3101 / FAX (058) 382-1762



緩和ケアって？まず、痛み（苦痛）をなくそう！



外科医長 井上 保

緩和ケアって、いったい何を緩和するの？と思われる方も多いと思います。病気を治すためには、手術や薬物療法などの積極的な治療を必要としますが、同時に病気や治療に伴う痛みなどの不快な症状、家族や介護のことなど、療養に伴う様々な問題を解決していくことも必要になります。緩和ケアは、このような療養に伴う問題を抱えた患者さま、ご家族をサポートする役割を持っています。

WHO（世界保健機関）は、2002年に緩和ケアの定義として、「生命を脅かす病気に起因した諸問題に直面している患者と家族のQOL（注1）を改善する方策で、痛み、その他の身体的、心理的、スピリチュアルな諸問題の早期かつ確実な診断、早期治療によって苦しみを予防し、苦しみから解放することを目標とする」と述べています。以前の緩和ケアの定義（WHO、1990年）では、「病気が治らない状態、末期状態」にある患者さまへのケアと理解とされていましたが、この新しい定義では、「疾患の早期から」提供されるケアとなっています。2006年6月に成立した「がん対策基本法（注2）」にも、疾患の早期から緩和ケアが提供される体制を作ることが明記され、全国の多くの病院で緩和ケアチームが作られています。

現在では、ホスピス緩和ケア病棟・緩和ケアチーム・在宅療養支援診療所が、それぞれの状況に応じた緩和ケアを提供し、地域ごとに有効なネットワークが作られ、緩和ケアを必要とする患者さま、ご家族に適切な緩和ケアが提供される体制を構築することが望まれています。

緩和ケアにおいてまず重要なことは、末期癌患者の約70%に出現すると言われている痛みを取り除くことです。これには、「WHO方式がん疼痛治療法(三段階方式)」があり、疼痛の程度に応じて非オピオイド、弱オピオイド、強オピオイド（モルヒネなど）を選択することとなっています。オピオイドとは、従来麻薬といわれてきた鎮痛剤です。

モルヒネは、がん疼痛治療の基本薬といえる薬剤ですが、偏見・誤解・認識不足・製剤の多様化などにより適切な使用がされていない場合もあります。痛みをはじめとした苦痛を取り除くことで、食事ができる・安眠を得るなど苦痛から解放された状態が最善の緩和治療と言えると思います。

注1：QOL クオリティ・オブ・ライフ（Quality of Life、略語：QOL）は、一般に人の生活の質、すなわちある人がどれだけ人間らしい望み通りの生活をおくることが出来ているかを計るための尺度として用いられています。ここでのQOLの改善とは、患者さま自身がより尊厳を保つことが出来る生活を実現出来るよう患者さまを援助していくということです。

注2：がん対策基本法 日本人の死因で最も多いがんの対策のための国、地方公共団体等の責務を明確にし、基本的施策、対策の推進に関する計画と厚生労働省にがん対策推進協議会を置くことを定めた法律です。

冬野菜の栄養

主任管理栄養士 長屋 紀美江

日増しに寒さが募ってきましたが、お元気ですか？紅葉の色も一段と濃く深くなってきました。こんな時期には食事で体を温めて、風邪などに負けない体づくりをしましょう。とくに冬野菜をたっぷり食べて健康に、ついでにダイエットもしちゃいましょう。



水分が95%以上
ビタミンC
カリウム
食物繊維



カルシウムほうれん草の5倍
カロチン
ビタミンC、E、K
鉄、カリウム



体を温める、疲労回復
カリウム
ビタミンC
カルシウム



白根部分（消化酵素ジアスターゼ）
葉部分（カロチン、ビタミンC、カルシウム）



白根部分（消化酵素ジアスターゼ）
葉部分（カロチン、ビタミンC、カルシウム）



カロチン、一束で所要量を満たすほど豊富
油と一緒に吸収良

宴会続きで飲みすぎ、食べすぎには、翌朝の大根の味噌汁が、おなかに優しいですね。

野菜いっぱいの鍋物や、けんちん汁などを食べて冬の寒さに備えましょう。

禁煙成功体験談

各務原市内在住 50代・男性

私は2回の禁煙外来の受診でタバコを止めました。タバコを止められたおかげで市民運動会のマラソンに挑戦しようと考えています。

私がタバコを吸い始め、35年になりました。1日に2箱、吸い続けてこれまでも幾度も禁煙に挑戦し続けましたが、この野望を達成したことはありませんでした。

東海中央病院が禁煙外来を実施している話を聞きました。病院で禁煙に挑戦すれば、今度こそは禁煙できるのではないかと思い、予約して受診してみると、問診・検査と医師の親切な指導をして頂き、いかに自分が無茶苦茶、タバコを吸っていたか恥ずかしくなりました。受診後、どれだけタバコを吸いたかったことか。口寂しく、ついタバコを吸おうと思ったこともありましたが、家族の励ましや医師の励ましの言葉で辛い禁断症状を乗り切ることができました。

現在、私はタバコ2箱の生活から完全に解放されて脱・愛煙家の日々を過ごしています。わずか2回（※）の禁煙外来のおかげでタバコを止めることができました。前よりご飯が美味しく、仕事にも余裕を感じられるようになりました。こんな素晴らしい日常を想像していませんでした。是非とも、禁煙に挑戦して失敗し続けている愛煙家の皆様、私のように止めてみませんか。禁煙外来の医師、看護婦さん、ありがとうございました。

〈10月15日に投稿されたものを一部抜粋し許可を得て掲載しています。〉

※この方は2回の禁煙外来受診で禁煙に成功されましたが、通常の禁煙外来は5回の受診です。

禁煙外来 毎週（月・木）午後1時30分から 完全予約制 初回のみ予約時間30分前に来院

保険適用の対象となる患者さまは、次①～④の条件を全て満たした方です。条件を満たさない方で希望される方は、原則として自由診療となります。お問い合わせ、予約申し込みは、医事課外来係（内線1174）までお願いします。

- ① 外来の患者様（入院中の患者様は対象外です）。
- ② ニコチン依存症に係るスクリーニングテスト（TDS）で5点以上の方。
- ③ ブリンクマン指数が200以上の方。
1日の喫煙本数（本）×喫煙年数（年） ≥ 200
- ④ 本人の意思により、直ちに禁煙することを希望している方。



診療情報の提供とは



診療情報管理士 澤木 芳一

「診療情報の提供」とは、診療の過程で得られた患者さまの身体状況、症状、診断、治療等の情報を提供することをいいます。提供の方法は、「診療内容の説明」と「診療録（カルテ）等の開示」の2通りです。

当院では、インフォームドコンセントに基づき日常診療における診療内容の積極的かつ丁寧な説明による情報提供を行うことが、第一だと考えております。次に、日常診療での説明以外にも患者さまご本人から申し出があれば、審議した上で、診療録等の開示を行って

ております。

開示につきましては、患者さまご自身にとって非常に大切な「個人情報」というプライバシーを取り扱う意味合いから、厚生労働省や日本医師会の指針に添った取り扱いを行っております。ただし、開示には申請を必要とし、当院での審査を実施することになりますので、一定の時間がかかりますことをご了承ください。

緩和ケアチームの発足と緩和ケア外来開設のお知らせ

私たちは病気になった時、症状による苦痛だけではなく、家族の生活、経済上の問題や介護のことなど、療養に伴う様々な問題に不安を持ちます。緩和ケアは、このような療養上の様々な問題を持つ患者さんやご家族をサポートする役割を担っています。このたび東海中央病院では、従来の、病気を治す積極的な治療はもちろんのことですが、安心し、満足のいく自分らしい療養生活を送ることができるようにと、緩和ケアを専門とするチームが発足しました。

緩和ケアチームは、医師（身体や精神症状を担当）、看護師、薬剤師を中心に、ソーシャルワーカー、心理療法士、理学・作業療法士、栄養士、地域医療連携室などの職種によって構成されています。

これまでの主治医や担当看護師との関係が変わるわけではありません。緩和ケアチームは今の治療に参加するという形で関与しますので主治医を通じてご気軽にご相談ください。

緩和ケアチームの業務の内容は、

1) 入院中の患者さんに対する緩和ケア回診

主にがん患者さんの痛み、息苦しさ、吐き気などの身体的症状や、不安、いらだち、気分の落ち込み、恐れなどの精神症状に対する治療とケアをはじめ、リハビリ、栄養相談、および退院後の療養などについて相談を行います。

2) 緩和ケア外来の開設

外来で、主にがん患者さんの身体・精神症状の治療とケア、介護や療養上の問題などについて相談を行います。

- 対象： 1. 当院通院中の患者さんで依頼のある方
 2. 他の医療機関でケアを受けている方についての相談
- ※予約制で、原則として紹介状が必要です。
 ※緊急の場合は、直接外来担当医師にご連絡ください。

3) 院内や地域における緩和ケアの普及活動

講演会や事例の検討会などを企画します。



平成19年度 東海中央病院内勉強会プログラム

皆様の参加をお待ちしています

緩和ケア勉強会

- 第4回 12月12日（水）17:30～18:45
 東海中央病院大会議室
 佐藤嘉孝副薬剤部長
 『痛みのコントロール
 -薬物治療の基礎知識-』
- 第5回 1月9日（水）17:30～18:45
 東海中央病院大会議室
 大川謙徳内科医長
 『せん妄について』
- 第6回 2月6日（水）17:30～18:45
 東海中央病院大会議室
 須川友弘医療ソーシャルワーカー
 『社会経済的サポート（仮）』

NST勉強会プログラム

- NSTチェアマン 佐藤榮作
- 第5回 1月10日（木）17:45～18:45
 東海中央病院大会議室
 『食物繊維と便秘・下痢』 & 『咀嚼・嚥下障害のケア』
- 第6回 3月13日（木）17:45～18:45
 東海中央病院大会議室
 『腎不全と輸液』

NSTとは栄養サポートチーム〈Nutrition Support Team〉の略語であり、栄養療法を浸透させ、基本的医療を病院内に確立させるためのチーム医療を指します。栄養管理はすべての疾患治療に共通する最も基本的な医療です。

◎初診・再診受付時間▶ 8:30～11:30

◎毎週土・日曜日祭日全科休診

お願い

保険証等の提示

月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口に提示してください。



とうかい

発行：〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
 公立学校共済組合 東海中央病院
 電話 (058) 382-3101 / FAX (058) 382-1762
 URL <http://www.tokaihp.jp>

Photo 足立 宜 泰

発行人：病院長 渡 邊 正

発行：年4回